

食品安全委員会の 11 月の運営について（報告）

1．食品安全委員会の開催

第 118 回 11 月 2 日（水）

- ・食品健康影響評価（普通肥料 2 品目 「けい酸加里肥料」及び 「熔成けい酸加里肥料」の公定規格の変更について、同日付けで食品健康影響評価の結果を農林水産大臣に通知）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「オリサストロビン」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・プリオン専門調査会における審議状況について報告（「米国・カナダの輸出プログラムにより管理された牛肉・内臓を摂取する場合と、我が国の牛に由来する牛肉・内臓を摂取する場合のリスクの同等性」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の 10 月の運営について（報告）
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（10 月分）

第 119 回 11 月 10 日（木）

- ・松田食品安全担当大臣挨拶
- ・食品健康影響評価の要請（農薬 3 品目 「ピリプロキシフェン」、「ミルベメクチン」及び 「インドキサカルブ」）に関する厚生労働省からの説明
- ・高病原性鳥インフルエンザへの対応について農林水産省からの報告

第 120 回 11 月 17 日（木）

- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「チルミコシンを有効成分とする製剤原料（チルミコシン）」及び 「牛の注射剤（ミコチル 300 注射液）」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品中に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度の導入に関する厚生労働省からの説明を踏まえての調査審議

第 121 回 11 月 24 日（木）

- ・食品健康影響評価（動物用医薬品 4 品目 「オフロキサシンを有効成分とする鶏の飲水添加剤（オキササルジン液）」、「豚流行性下痢生ワクチン（日生研 PED 生ワクチン）」、「塩化リゾチームを有効成分とするまだいの飼料添加剤（水産用ポトチーム）」及び 「マラカイトグリーン及びロイコマラカイトグリーン」

について、同日付けで食品健康影響評価の結果を農林水産大臣に通知)

- ・食品に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度の導入に関する厚生労働省からの説明を踏まえての調査審議
- ・食品安全モニターからの報告(平成17年10月分)について

2 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第12回 11月7日(月)

- ・専門委員の改選及び専門調査会の運営等について説明、座長の選出
- ・委員会自らの判断により食品健康影響評価を行うべき対象を点検・検討し、食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の候補として、「メキシコ、チリ、中国産牛肉等」を選定
- ・平成17年度食品安全委員会運営計画の実施状況について中間報告
- ・食品安全委員会における情報収集及び提供の流れについて報告

(2) 農薬専門調査会

第38回 11月16日(水)

- ・「1-メチルシクロプロペン」、「スピロメシフェン」及び「フロニカミド」について検討。 に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(3) 動物用医薬品専門調査会

第39回 11月9日(水)

- ・「チルミコシンを有効成分とする製剤原料(チルミコシン)」及び「牛の注射剤(ミコチル300注射液)」の再審査について検討。これらに関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定
- ・「エンロフロキサシンを有効成分とする製造用原体(バイトリル原体)、鶏の飲水添加剤(バイトリル10%液)、牛の強制経口投与剤(バイトリル2.5%HV液)並びに牛及び豚の注射剤(バイトリル2.5%注射液、同5%注射液、同10%注射液)」の再審査について検討

第40回 11月9日(水) 非公開

- ・「ツラスロマイシン」について検討

(4) 微生物専門調査会 第6回ウィルス専門調査会と合同で開催

第9回 11月15日(火)

- ・専門委員の改選及び専門調査会の運営等について説明、座長の選出
- ・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

第10回 11月15日(火)

- ・小麦粉を主たる原材料とする冷凍パン生地様食品について検討

(5) ウイルス専門調査会

第6回 11月15日(火) 第9回微生物専門調査会と合同で開催

- ・専門委員の改選及び専門調査会の運営等について説明、座長の選出
- ・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

(6) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第34回 11月21日(月)

- ・ トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7*を掛け合わせた品種、コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7*とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種、コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7*とトウモロコシ1507系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種、ワタ281系統とワタ3006系統とラウンドアップ・レディー・ワタ1445系統を掛け合わせた品種 ジェランガムK3B646、ワタ281、ワタ3006、コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B.t.Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7*及び除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統について検討。 、 、 、 及び に関して、食品安全委員会に報告することを決定

(7) 新開発食品専門調査会

第29回 11月7日(月)

- ・専門委員の改選及び専門調査会の運営等について説明、座長の選出
- ・コエンザイムQ10の安全性について検討
- ・「大豆イソフラボンの安全性評価について」(修正案)について検討

(8) 新開発食品・添加物専門合同調査会ワーキンググループ

第1回 11月2日(水)

- ・新開発食品・添加物専門調査会合同ワーキンググループの設置及び座長の選出
- ・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について検討
- ・厚生労働省が実施する追加試験について検討

3．意見交換会等の開催

1 1月2日（水） 食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会）＜北海道小樽市＞

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省・北海道厚生局、農林水産省・北海道農政事務所、北海道及び小樽市の主催により、「輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会」を北海道小樽市にて開催し、厚生労働省から、「輸入食品の安全確保について」及び「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで説明を行った。また、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月4日（金） 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - BSEと牛肉の安全性 -

- ・ 食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション（東京） - BSEと牛肉の安全性 - 」を東京都千代田区にて開催し、コリーヌ・ラスメザス博士（スクリプス研究所）から、「BSEと牛肉の安全性」のテーマで講演を行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月8日（火） いしかわ食の安全・安心シンポジウム＜石川県金沢市＞

- ・ 食品安全委員会及び石川県の主催により、「いしかわ食の安全・安心シンポジウム～みんなで考えよう 食の安全と安心～」を石川県金沢市にて開催し、リスクコミュニケーション専門調査会の唐木専門委員から、「食の安全と安心～なぜ「不安」なのか～」のテーマで講演を行った。また、「食の安全と安心～不安を解消するために～」をテーマにパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月9日（水） 食品に関するリスクコミュニケーション（農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会）＜沖縄県那覇市＞

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省及び沖縄総合事務局の主催により、「農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会」を沖縄県那覇市にて開催し、農林水産省から、「農薬のリスクアナリシスについて」及び「農薬の登録制度と適正使用について」のテーマで講演を行い、続いて沖縄県農業試験場病虫部長の安田慶次氏から、「沖縄県における天敵農薬の開発及び利用について」のテーマで事例紹介を行った。また、消費者代表、生産者代表等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月14日（月） 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <北海道札幌市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会（札幌）」を北海道札幌市にて開催し、プリオン専門調査会の堀内専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価（案）について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月15日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <大阪府大阪市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会（大阪）」を大阪府大阪市にて開催し、プリオン専門調査会の小野寺専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価（案）について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月15日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション（農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会）<愛知県名古屋市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・東海北陸厚生局、農林水産省・東海農政局及び（独）農林水産消費技術センター名古屋センターの主催により、「農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会」を愛知県名古屋市にて開催し、農林水産省から、「農薬のリスクアナリシスについて」及び「農薬の登録制度と適正使用について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月16日（水） 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <宮城県仙台市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会（仙台）」を宮城県仙台市にて開催し、プリオン専門調査会の小野寺専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価（案）について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月17日(木) 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <福岡県福岡市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会(福岡)」を福岡県福岡市にて開催し、プリオン専門調査会の甲斐(諭)専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価(案)について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月18日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション~魚食と健康に関する意見交換会~<福岡県福岡市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省九州農政局及び福岡県の主催により、「魚食と健康に関する意見交換会」を福岡県福岡市にて開催し、相山女学園大学客員教授の安本教博氏から、「栄養面からみた健康への利益とリスク」のテーマで、農林水産省から、「魚食と健康」のテーマで、それぞれ講演を行った。また、消費者代表、水産関係者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月18日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <広島県広島市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会(広島)」を広島県広島市にて開催し、プリオン専門調査会の小野寺専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価(案)について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月21日(月) 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <愛知県名古屋市>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会(名古屋)」を愛知県名古屋市にて開催し、プリオン専門調査会の山本専門委員から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価(案)について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月22日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 - <東京都新宿区>

- ・食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション - 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会（東京）」を東京都新宿区にて開催し、プリオン専門調査会の吉川座長から、「米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価（案）について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、生産者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月22日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション（「輸入食品の安全確保の取組について」の意見交換会）<山形県山形市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・東北厚生局、農林水産省・東北農政局及び山形県の主催により、「輸入食品の安全確保の取組について」の意見交換会を山形県山形市にて開催し、厚生労働省から、「輸入食品の安全確保について」のテーマで講演を行った。また、消費者代表、行政関係者をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

1 1月30日（水） 食品の安全・安心シンポジウム<岐阜県岐阜市>

- ・食品安全委員会及び岐阜県の主催により、「食品の安全・安心シンポジウム」を岐阜市にて開催し、寺田委員長から、「食品の安全性確保のための体制と取組について」のテーマで、岐阜大学学長の黒木登志氏から、「がんになる食事、ならない食事」のテーマでそれぞれ講演を行い、会場参加者との意見交換会を実施。